

八戸市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

=テーマ= 「環境先進都市～八戸」の理念に相応しい環境的に持続可能な交通（EST）への転換

事業概要

八戸市は、「人と自然と環境にやさしい環境先進都市」の実現を掲げる「八戸市環境基本条例」(H16制定)の趣旨を踏まえ、運輸部門における環境負荷低減対策として、路線網の再編・再構築とバスサービス向上により公共交通の利用促進を図るとともに、道路環境の整備等により渋滞緩和を推進し、環境的に持続可能な交通（EST）への転換を目指す。

	H5	H10	H15
市営バス乗合輸送人員	1689万人	1143万人	947万人
市内自動車登録台数	14.4万台	16.2万台	17.0万台

**この10年間で、乗合バスの乗車人員は4割減！
自動車等の保有台数は2割増！**

公共交通の再編・再構築と道路環境の整備等により…

目標

**平成20年度までに対象エリアのCO2排出量を
8,658t-CO2(約3.2%)削減(対未対策時)**

低公害バス導入によるPM削減:1,766kg/kWh

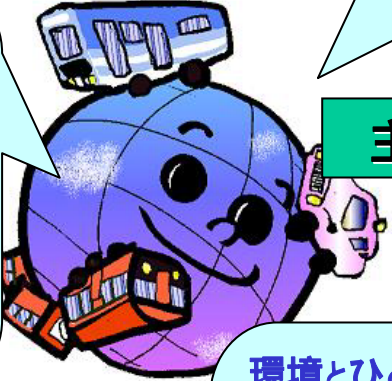


公共交通体系の再編・再構築

- ・南浜地区・美保野地区生活交通再編モデル実証実験
- ・南郷コミュニティバスの運行改善
- ・公共交通再生プラン策定事業
- ・路線再編による運行効率化

環境的に持続可能な交通モデルの検討・周知啓発

- ・都心再生トランジットモール導入検討
- ・広報、CATV、各種イベント等の活用による周知啓発



主な施策

バスを活用した環境対策

- ・低公害車の導入
- ・環境定期券、子ども探検隊エコパスポートの発行
- ・新バスロケシステムの導入
- ・ITSサービスの利用促進

環境とひとにやさしい「みちづくり」

- ・国道45号八戸南道路一部区間暫定供用開始
- ・国道45号八戸バイパス(新井田～妙)の4車線化
- ・県道八戸野辺地線道路改良事業
- ・歩道整備(くらしのみちゾーン形成事業 など)